

## 新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人
2. 氏名／団体名：非公開
3. 連絡先：非公開
4. ご意見：

1. 重点施策の中で特に優先的に取り組むべきものは何か。

### (2)地域の絆の再生

○全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられるとともに、個人が健康管理に取り組める環境を実現するため、国民が自らの健康・医療情報を電子的に管理・活用するための全国レベルの情報提供サービスを創出する。

また、匿名化されたレセプト情報等を一元的なデータベースとして官民で集約し、広く医療の標準化・効率化及びサービスの向上に活用可能とする。

(理由) 現在の医療提供体制、医療制度、診療報酬体系などを抜本的に改革することなく、単に社会保障費を増加させても、負担増に見合う、安心・安全の医療が受けられるか大いに疑問があります。負担増の前に、まずは社会保障全体の無駄を省くことが大切だと思います。その後、必要な分野には大胆に財源を投入して、国民が安心できる医療・介護制度を構築すべきと考えます。更に、今以上の高負担でも構わないと多くの国民が望むなら、消費税を社会保障費のための目的税にすることなどについて、経済情勢などを鑑みながら時間を掛けて慎重に議論するべきではないかと考えます。

具体的には、診療報酬改定を審議する中医協を国民のための議論の場とするための抜本的改革、年収二千数百万円という開業医の診療報酬の大幅な引き下げや診療報酬支払の審査方法を変えることで過剰診療を減らすことなどで、医療費の無駄を大幅に削減できると考えます。

全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられるとともに、個人が健康管理に取り組める環境を実現するため、国民が自らの健康・医療情報を電子的に管理・活用するための全国レベルの情報提供サービスを創出する。ことにより、治療中心の医療から、疾病の予防を重視した医療制度・診療報酬体系に切り換え、自己責任で予防効果が期待できる生活習慣病や風邪のような軽費医療など疾病によっては保険免責制の導入も必要だと思います。それらにより削減できた医療費を、国民が真に必要としているのに不足している分野に回すことで、国民に更なる負担増を強いることなく、安心・安全の医療・介護制度を構築できると考えます。

このように医療に対する国民の不安や不満は、医療費の無駄を省くことで、国民が必要とする医療提供体制を確立することで解消できると考えます。

例えば、平成 17 年 12 月内閣府「構造改革評価報告書5 医療制度改革」には、

「同種の病気や治療行為であっても、地域によって投薬の量や検査回数などに違いがあり、この格差を半分に縮小することにより総医療費は 14.9%(3兆6000億円)減少する。」とあります。匿名化されたレセプト情報等を一元的なデータベースとして官民で集約し、広く医療の標準化・効率化及びサービスの向上に活用して削減できた財源を不足している医療に有効に活用して、国民の不安や不満を解消しては如何でしょうか。

2. 各重点施策についてそれぞれどのような目標・スケジュールを設定して取り組むべきか。

先ず優先順位を決め、総合的に目標とスケジュールを設定すべき。

3. 各重点施策の推進にあたって取り組むべき課題、留意すべき点は何か。

各重点施策共通の課題は、国民の視点と効率化を重視すること。留意すべき点は、反対する業界や団体の圧力に屈して政治決着を図ろうとすること。

4. その他

旧政権時代のいわゆる族議員や縦割り行政を打破して、国民のために頑張っしてほしいと思います。

以上